

ほんめの“眼” ~HOMME's EYE~

谷中に住む猫



ジンジャーとさよ



台東区の区議会議員



生理用品、やっぱりトイレに必要なのじゃ？



それが、何かしらの理由で用意できない子どものために必要なのか？は私もわからないの。だから調査やってほしかったんだけどね。



港区でも用意できない子いたにゃ。



そうなのよ。だから台東区でもいると思うんだよね。でも、生理用品を無料で行政が配るべきか？というのは難しくもある。



生理的現象だというのじゃだめにゃ？



うん。そうすると、赤ちゃんのおむつも、大人の尿もれパッドも無償配布？という公平性の問題もあるの。



たしかにそうにゃ。



ただね、公平性の問題はあるんだけど、思春期というデリケートな時期に「生理」に関する事で困ったなとか、嫌だなって思う経験は少しでも減らしてあげたいんだよね。



さよ議員も経験あるにゃ？



今はだいぶ鈍感力もあがったけど、恥ずかしくて保健室に行けないとか、休み時間短いからやっぱり保健室に行けないとか普通にありそうな気がするんだもの。自分が嫌だと思ったことは、後輩たちには味わわせたくないよね。

台東区議会議員

ほんめ

本目さよ

1982年3月10日生 39歳

党籍：無所属

会派：つなぐプロジェクト

資格：保育士

趣味：読書、おかしづくり

好きな物：くだもの

成蹊高校、白百合女子大学を経て、お茶の水女子大学大学院修了。研究テーマは『夫婦の情緒的サポートと育児ストレスの関係』。修了後はIT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。2019年3月に3選を果たす。台東区では唯一の30代で子育て中の女性議員。声なき声を聞くという意志と、少子高齢化への特效薬としての子育て支援に力を入れていることからタッチフレーズは「子育て、本命！ーやさしい政策ー」「議員のあり方」とは何か？を模索しながら区民の方々との双方向的な取り組みを実施している。政策を実現できる女性議員を増やすための超党派若手女性議員のネットワーク「WOMAN SHIFT」代表。子育て・若者支援特別委員会所属。一児の母。ママのインターン受け入れ中。



